

節電実験結果報告

2012年6月10日
イーストコート3番街
管理組合法人理事会

5月1日より、実施いたしました、節電実験の結果が出ましたので報告いたします。
関西電力と管理組合が大口契約している 共用部分の電力消費量の節減結果です。

電力使用量は、約10%削減の大きな成果を上げることができました。皆様の協力のおかげです。しかしながら、電力料金については、1.5%の節減結果でした。

これは、燃料の高騰が毎月の電力単価に反映しており、値上げされているためです。

もし、節電がなく、昨年同様96,500kWh 使用していたら、試算では、1,422,000 円に達し、198,000 円の出費増になっていました。

照明の節電については、今の体制で、継続するとともに、今後は、
夏場の共用部のエアコンの節電対策を検討します。

料金期間	電力使用量 kWh	料金/月 円	平均 kWh 単価
23年度6月分 (5月1日～5月31)	96,500	1,224,000	12.68 円
24年度6月分 (5月1日～5月31)	87,000	1,205,000	13.85 円
差異	▲9500	▲19,000	△1.17
結果	9.8%削減	1.5%節減	9.2%値上げ

(注) 皆様の家庭用の電力の単価は、平均24円/kWh です。

関電に 地下室(特別高圧室)を貸し、そこで20000V→400V 変電→200、100
管理組合へは 20000V→6000V



管理組合 地下室の別の部屋(自家用電気設備室)6000V→400V, 200V, 100V



地下の特別高圧室



家庭用 変電トランス

節電についての理事長談話

2012年4月30日

イーストコー3番街管理組合法人
理事長 三谷光平

この夏、関西電力の発表によれば、**17%近い電力の不足が懸念**されております。また、燃料の高騰による**電力の値上げの可能性**もあります。さらに、**消費税が5→10%に値上げ**されれば、たちまち、計上している予算以上の出費が発生します。そこで、「理事長就任のあいさつ」で申し上げましたとおり、**5月1日より、節電を実施し、その1ヶ月間の成果を検討し、恒久的節電策を確定**したいと思います。

節電目標 **現行 1800万円/年(共用電気代)×0.05(消費税値上げ予想分)=90万円/年**

試験実施期間：**5月1日～5月31日**

6月10日理事会にて試験結果を確認し、実施項目を確定

試験実施項目：

建物防災委員会および広報通信委員会の技術担当者に諮問した結果、居住者に最低限の負担で、大きな効果が期待できることから下記の項目を試験実施します。6月10日の理事会まで、試験実施を継続します。

1. **駐車場の常夜灯(蛍光灯)を常時消灯**
2. **各階通路の天井照明を半数消灯**
3. **2F 西側通路の「人感センサー」を復活させる**

(2011年3月19期で、人感センサーを設置しましたが、居住者の要望により20期に、人感センサーを停止措置しておりました)

- 1 選定理由：約100箇所以上の蛍光灯が、24時間点灯しており、少しの不自由で大きな節電効果が期待できます。
- 2 選定理由：通路の天井照明も24時間点灯で、半数消灯で少し暗くなりますが大きな節電効果が期待できます。
- 3 選定理由：30W10灯蛍光灯 60W9灯白熱灯が、24時間常に点灯しており、人感センサーの効果が出やすい。(年間98000円の節減予想)

また、以上の3項目実施については、**新たな投資を必要としません。**

皆さまには、少し不自由をおかけいたしますが、**試験節電への協力をお願いいたします。**

以 上